

# 大妻女子大学 家政学部児童学科 樺山敏郎教授のご講演

※ 動画を視聴する際、ご参考までにご覧ください。

## 始め～2分 樺山教授の紹介

- ・ 経歴
- ・ 今回が3回目のご講演

## 2分～ 自己紹介

○ウェブサイトについて

- ・ オンライン★セミナー
- ・ 書籍の紹介
- ・ CBT（現在問題を作成中）
- ・ 全国花まる国語の授業づくり

○研究について

- ・ 「教えたいことを学びたいことへ」を軸においてラーニングマウンテンを進めていく。

## 13分～ 2学期以降気を付けてほしいこと

①もっと子供主体

- ・ 教師がしゃべりすぎていないか。
- ・ 小学校低学年でも子供が司会になって授業を進めることができる。
- ・ 3つの「きく」 聞く（耳）・聴く（心）・訊く（声）

②もっとレスポンス

- ・ 外国語科で大切にしているコミュニケーションを全教育活動で
- ・ 子供型の評価が子供は嬉しい。
- ・ 子供からのつぶやきがたくさん出るように

③もっと役立ち感

- ・ 体育科のように「できた」という実感を
- ・ 日常で使えるように

## 23分～ 学びの文脈について

- ・ 始まりは特支級の授業
- ・ 学びのゴールとプロセスを子供たちと考える。（文脈を作る。）

## 30分～ 授業実践の具体例（4年「一つの花」）

- ・ もっと子供主体で、もっとレスポンスを、もっと役立つものを。
- ・ 3つの「きく」…聞く（耳）、聴く（心）、訊く（声）を大切に。
- ・ プロセスを子供とともに考え、組み立てる学習を。（例「なりきり音読劇をしよう」）

文学的な文章の学習を振り返る。

「白いぼうし」の学習で付いた力は？（前の学習）



学んだことを具体的に確認

- ・問いをもち、その答えを見つける
- ・人物の行動…



既習の戦争を扱った物語を確認

- ・前年度の学習ともつないでいく。（ファンタジー）
- ・「ちいちゃんのかげおくり」家族、戦争、爆弾、悪いイメージ…（作品の特性を学ぶ）
- ・学習用語を整理する。

説明的な文章のバリエーション（観察記録文、調査文、活動報告文、論説文…など）



感想を書き、問いをもつ。

- ・初読はデジタル教科書の活用でなく、範読がよい。初読は命。感動がずっと続く。言葉には温度がある。（肉声、言葉に対するイメージ、印象）
- 読み方…ペースを合わせたり、教えながら読んだり、要所要所で止めて。（スローリーディング、ブックトークっぽく）先を読まない楽しさ、物語のおもしろさ



国語係が問いを分類する。

- ・考えたい問いを1つ、水色の付箋に書く。自分も考えたいけれど、みんなで考えたい問いを学びの舞台に上げる。



グループごとに問いをまとめる。

- ・似ている問いをもつ子どもでグループを作る。
- ・4人の問いから1つ決める。（ブラッシュアップ）



子どもの問いを並べ替えながら、子どもとともに授業を作っていく。

- ・第○場面、第○場面を読む、第○場面と第○場面を比べる、題名の意味を考えるなど。

### <学習課題>

場面の様子を比べながら、登場人物の行動や気持ちに注目して読み、題名や意味について考えよう。

※ 自分のこだわり、学びたい問いは「雲」に残す。

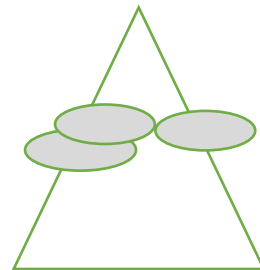


言語活動を確認し、単元名を記入。



学習計画を立てていく。（調整できるから大まかでい。）

- ① 感想と一人一人の問いを考えよう。
- ② 問いをまとめ、学習課題を作り、学習計画を立てよう。
- ③ ○場面、○場面をくわしく読もう。
- ④ ○場面と○場面を比べながら読み、題名の意味を考えよう。
- ⑤ 感想をまとめよう。
- ⑥ // （1時間でよい。）
- ⑦ 交流、振り返りをしよう。





評価場面や方法も共有する。(評価規準を)

- ・何ができるようになったのか、子どもがメタ認知していく学習を。
- ・子どもたちの問いを大事にしながら。
- ・平和教材として、「戦争」についてある程度教える。
- ・場面と場面（戦争に行く前、行く時、１０年後）を比べ、対比的に読む。
- ・１０年後…行間を読む。空白を読むことで、立体的にふくらみ、深い読みになる。
- ・「一つ」の意味合いは、それぞれ違っていて多様である。
- ・子どもが気付かないところは教えてやることも必要。
- ・既習（認知・非認知）に対して、教師の内発的・外発的動機付けがあり、問いを生み出していく。
- ・内容や方法、手順、形態、時間等、学習方略のプロセスを教師がコントロールし、粘り強く取り組めるよう支援する。